

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

## 事業名 **新**ホストタウン交流推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ交流係

電話番号：058-272-1111 (内 2948)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,074千円 (前年度予算額：0千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	16,074	0	0	0	0	0	0	0	16,074
決定額	11,422	0	0	0	0	0	0	0	11,422

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン交流を推進してきた。
- ・カナダ(陸上・パラ陸上)、オランダ(ホッケー)の事前合宿が本県で実施され、練習公開やオンライン交流などオリンピック、パラリンピアンとの交流が行われた。
- ・今後も、ホストタウン交流で築き上げたホストタウン相手国・メダリストなど海外トップ選手との関係を活かし、引き続き、海外トップ選手の合宿誘致や、海外トップ選手とのオンラインも含めた交流を推進、継続していく。
- ・2023年は、韓国釜山で世界パラ陸上競技選手権大会が開催され、2024年には2度目の延期が予定されている神戸市での世界パラ陸上競技選手権大会が協議されていることから、両大会におけるカナダ選手団の合宿誘致を行う。
- ・加えて、東京パラリンピック開催により高まったパラスポーツへの関心を

一過性のものにせず、更に関心を高め持続していくために、パラスポーツやパラアスリートとの継続的なつながりを作り出していく。

## (2) 事業内容

- ・事前合宿誘致、受入れ
- ・ホストタウン交流事業
- ・カナダパラ陸上選手団受入れに向けた心のバリアフリー推進事業

## (3) 県負担・補助率の考え方

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略及び第二期清流の国ぎふスポーツ推進計画（策定中）に基づき、合宿誘致による交流人口の拡大による県内地域経済の活性化を図るため、県費負担とする。

## (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	97	土産品等
対外交流費	250	懇談会経費
役務費	250	翻訳料
委託料	15,477	心のバリアフリーの推進、合宿誘致活動、ホストタウン交流等
合計	16,074	

#### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

### 4 参考事項

#### (1) 後年度の財政負担

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略及び第二期清流の国ぎふスポーツ推進計画（策定中）に規定されたものであるため、事業を継続する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ホストタウン交流が、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとなるよう 2024 年パリオリンピック・パラリンピックまで海外トップ選手の合宿を誘致し、海外トップアスリートと地域との交流を継続させる。

特に、パラアスリートとの交流を通じた心のバリアフリーの推進を図り、スポーツを通じた共生社会に向けた取組みを進める。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
						達成率
交流件数（累計）	0 回	2 回	3 回	2 回	2 回	100%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>相手国代表チームが多忙であることや文化の違いから、緊密に連絡を取り合うことが難しく、直前に多くの調整を行わざるを得ないことが多い。次年度以降も事前合宿の誘致や交流の継続に向けて、相手国と関係をさらに深め、緊密な連絡・調整体制を築く必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>「清流の国ぎふ」創生総合戦略及び次期清流の国ぎふスポーツ推進計画に基づいた取組みであり、交流人口の拡大がみられたため、今後も事業を継続する。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>